

京都ツウ・ウォーク



京都御所 建礼門

第3回 『王朝の歴史を探る』 ～桜が彩る京都御所を訪ねて～

平安朝の雅を今に伝える京都御所。歴代天皇が暮らした皇居であり、日本文化の粋が詰まった建築物が多く残ります。またこの時期は桜が見頃を迎え、1年で最も華やかに見える時。下御霊神社や本満寺など知る人ぞ知る桜の名所とともにご案内いたします。



1 下御霊神社



崇道天皇(早良親王)、橘逸勢など非業の死を遂げた人々の怨霊を、鎮めるため創建された神社。洛中では珍しい普賢象桜を見ることができます。

●075-231-3530

2 京都御苑



江戸時代には約200の宮家や公家の邸宅が立ち並ぶ街でしたが、現在は広大な公園となっています。桜や紅葉など、季節の様々な花木が楽しめます。

●075-211-6348

3 護王神社



狛犬ではなく、狛イノシシが鎮座する珍しい神社。国歌「君が代」に詠まれている「さざれ石」があります。

●075-441-5458

4 本満寺



1410(応永17)年創建の日蓮宗の寺。隠れた桜の名所と知られ、桜の時期には大きなシダレザクラが見事に咲き誇ります。

●9時～17時
●075-231-4784

A 京都御所



天皇が暮らした皇居。現在の御所は幾度もの火災を経て、江戸末期に再建されたものです。

●075-211-1211
※一般公開(春と秋の年2回)期間を除き、事前に参観許可が必要